

学域名	人間社会学域
学級名	経済学類

学級のディプロマポリシー(学位授与方針)

以下の3つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する深い理解をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものを含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わるこのときも人間性豊かな人材を養成する。

学級のOP(カリキュラム編成方針)

【2023年度の入学者】1年次には、国際基督教学院での前学および語学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標にあるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択(選んで適切な科目を選択する)は、年12回、アルバイト数と関係する機会が確保されている。2年次の10月から2024年1月までは専門関連科目を体系的に履修し、2年次4か月の履修期間に向けた関心を養う。3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・政策系科目群およびグローバル系科目群の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に応じて専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に携わり、演習での探究活動を通じて、人材養成目標4、5の達成の期待がある。なお、人材養成目標および14の達成を促して、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学級の学修体系(◎:学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、○:学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△:学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通して、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通して、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	2							○						◎
23211	海外語学研修B	海外滞在経験を通して、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通して、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	3							○						◎
23212	海外語学研修C	海外滞在経験を通して、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通して、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	4							○						◎
23220	インターンシップ	就業体験を通して経済学、経営学を実践的に学ぶ	1. 通常の学習と就業体験との統合ができる。 2. ビジネスと一般社会常識の習得ができる。 3. 就業観の形成ができる。	3	2							○						○
45100	マクロ経済学II	マクロ経済学に関する標準的な考え方や分析方法を体系的に学ぶ。	1. 標準的なマクロ経済理論を体系的に身につけ、それを論理的に説明できる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれを現実経済に適用できる。	2	2		◎	◎			○	○	◎					◎
45101	ミクロ経済学 II	不完全競争とゲーム理論について理解する	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようにする。 2. ゲーム理論の考え方を理解することができるようになる。	2	2	△	◎		○	△				◎	△		○	△
45102	政治経済学	資本主義経済の分析にあたって理論的・歴史的(制度論的)・政策的視野をもつべきことを学ぶ。	時代背景をしっかりと踏まえたうえで、政策的意義や理論的ベースの妥当性を考えることができるようになる。	3	2		○						◎	○				
45103	計量経済学	横断面データを用いた線形回帰分析手法	横断面データを用いた回帰分析手法が理解できるようにする。	3	2						◎							◎
45104	情報科学概論	情報化社会の進展の概要	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。	2	2		◎								○			◎
45105	実験経済学	This course will impart a solid grounding in learning the knowhow of experiments based on the understanding about experiment economics. This class does experiments, and considers about comparing differences between theory and human action. This course requires the students to take part in experiments and make a plan for experiment by themselves.	The course do reconfirm about theory economics. The course objective is that students are able to get the ability to consider about differences between results of experiments and theory. The final objective is that students are able to make a plan for experiment by themselves.	3	2		◎	◎	◎				◎	◎				◎
45106	都市経済学	This course will impart a solid grounding in urban economics as a part of applied microeconomics after studying public economics. The urban economics analyzes cities and studies reasons for buildings' height, agglomeration of city, etc.	The evaluation criteria of this class refers to the following points. *Students can understand and explain public goods and urban policies. *Students can understand a way of thinking and techniques of urban economics based on microeconomics theory. *Students have a problem-oriented consciousness and can understand the social issues based on microeconomics theory.	2	2		◎	◎	◎				◎	◎				◎
45107	金融論	金融取引の増加は人々の暮らしにどのような影響を及ぼすのか。金融取引や金融市場の考え方を講義する。	1. 金融の基本的概念を理解することができる。 2. 家計・企業の金融取引について理解を深める。 3. 金融取引における金融機関や金融制度の役割を理解することができる。	2	2		○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎			△	△
45108	財政学	現代財政学の基礎	現代の財政問題と理論的に説明するための基礎を修得する。	2	2		○	○	△			◎	○	○				○
45109	公共政策論	財政学の現代的応用	財政のグローバル化など、現代の財政現象を理論的に理解できるようにする。	2	2		○	○	△		△			○				◎
45110	地方財政論	地方財政の財源・経費の構造の背景にある政策枠組みを理解する	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の歳入・歳出・地方債の構造を知る。 3. 歳出・財源構造の変化の背景にある政策動向を理解する。	2	2		○		△					◎	○			○
45111	地方財政分析論	自治体財政分析に必要なデータ入手と分析方法を学ぶ	1. 自治体の財政データの入手方法を学ぶ。 2. 歳入・歳入・地方債等のデータ分析方法を学ぶ。 3. 歳出と財源を関連付けて自治体の財政構造を説明できるようにする。	3	2		○		△				◎	○				○
45130	社会政策論	社会政策に関する理論、思想、歴史的展開、政策体系	*社会政策形成の歴史的背景を理解する。 *今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力を身につける。 *雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 *雇用・失業政策をめぐる今日の対抗について理解するとともに、望ましい雇用・失業政策について自らの見解を述べることができる。	2	2								○	△		◎	○	○

学域名	人間社会学域
学級名	経済学類

学級のディプロマポリシー(学位授与方針)

- 以下の2つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に「経済学」の学位を授与する。
- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 - 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
 - 現代社会に対する深い理解をもとに、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 - 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
 - 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関与できる人間性豊かな人材を養成する。

学級のOP(カリキュラム編成方針)

【2023年度の入学者】1年次では、国際基督教学院での前学年および経済学上の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2を深める専門性の確立を目的にプレシジョン履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択(強い専門科目選択)は、年2回、アドヴァイス教養と履修科目が提供されている。2年次からのプレシジョン履修科目は、2年次からの履修科目に比べて関心を養う。3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、コアシステムコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。コアシステムコースでは理論的・政策的科目群およびグローバル系科目群の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各目的別に別けて専門分野より深い探求し、調査研究活動や論文執筆に取り組み、調査の研究成果を報告し、人間学科目群、4.の理解が期待される。なお、人材養成目標およびOの達成を促して、経済学類で提供される科目の一部は体系的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターシップも実施されている。

学級の学修目標(学習成果を上げるために履修するべき科目、学習成果を上げるために履修するべき科目)

- 幅広い教養を身につけ、経済学・経営学を学ぶための基礎的な考え方や分析手法を修得する。
- 市場経済のしくみや政府の役割を理解する。
- 企業、組織のしくみや経営に必要知識を得る。
- 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
- 現代経済学が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
- 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を高い次元で、キャリア形成の観点から理解し、解決の為に政策立案能力を養
- さまざまな問題を発見し、自ら課題を導き出す能力を培う。
- 社会問題について、自ら課題を導き出す能力を培う。
- さまざまな情報(自己研鑽によるものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益
- 社会人に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、リーダーシップ能力を身につける。

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学年	単位	履修条件
45127	社会保障論	現代社会における社会保障制度の課題を踏まえ、社会保障の概念・対象や社会保障の体系について主に社会保障学と経済学の観点から議論する。	(1)現代の社会保障の課題についての議論(2)社会保障の概念・機能・意義の理解(3)社会保障制度の理解(4)社会保障の今後の展望についての議論(5)経済学の理論に基づく計算問題の習得	2	2	◎◎○△△○○◎◎◎
45131	SDGs基礎	2015年に国際連合の加盟国で合意されたSustainable Development Goals(SDGs)(持続可能な開発目標)は、貧困・環境・教育・人権等の多分野にわたる17のゴールをもち、今後世界が「持続可能な社会」へ転換していく道筋を示したものです。SDGs達成のためには、企業・政府・市民の協力的な取り組みが必要とされており、そのためにはSDGsの本質的な理解が喫緊の課題となっています。この授業では、自身の関心領域への問題意識を起点に、SDGsが目指す「持続可能な社会」の本質を捉え、その社会の構築のために有効なアクションを考案します。	1. 自身の関心のある社会課題解決の重要性を自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようになる。 2. 自身の関心のある社会課題が発生する問題構造の仮説を論理的に説明できるようになる。 3. 自身の関心のある社会課題がSDGsとどのように関係しているのかを説明できるようになる。 4. 自身の関心のある社会課題の解決のツボは何かを、その観点とともに他者にわかりやすく説明できるようになる。 5. 自身の関心のある社会課題の解決のために効果的だと思われるアクションを提案することができるようになる。	2	1	◎◎◎◎◎
45132	SDGs実践	2015年に国際連合の加盟国で合意されたSustainable Development Goals(SDGs)(持続可能な開発目標)は、貧困・環境・教育・人権等の多分野にわたる17のゴールをもち、今後世界が「持続可能な社会」へ転換していく道筋を示したものです。SDGs達成のためには、企業・政府・市民の協動的な取り組みが必要とされており、そのためにはSDGsの本質的な理解が喫緊の課題となっています。この授業では、自身の関心領域への問題意識を起点に、SDGsが目指す「持続可能な社会」の本質を捉え、その社会の構築のために有効なアクションを考案します。	1. 自身の関心のある社会課題解決の重要性を自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようになる。 2. 自身の関心のある社会課題が発生する問題構造の仮説を、問題の当事者へのインタビューや現場の調査をもとに構築できるようになる。 3. 自身の関心のある社会課題の解決のために、人々の行動に対する動機づけや他者に促したアクションを提案することができるようになる。 4. デザイン思考に基づいたアクションプランの改善を行うことができるようになる。	2	1	◎◎◎◎◎
45133	経済事情 (日本の財政金融と北陸経済)	日本の財政、金融及び地域経済の現状を理解する。	北陸財務局で業務を担当している職員による数々の事例を踏まえた講義により、日本の財政、金融及び地域経済の現状を深く、正しく理解できるようになる。	2	2	◎◎○○◎◎
45134	ソーシャル・ビジネス論 I			2	2	
45135	ソーシャル・ビジネス論 II			2	2	
45136	地域福祉共創論	社会福祉に関する財政を含む行政・ガバナンスの理論・仕組み・実践を学ぶ。 福祉行政に関する理念・規範の論議の内容、並びに内容・立案・策定・実施・評価方法(住民参加を含む)などの具体的な内容を学ぶ。	(1)福祉行政における規範的理解すること(2)福祉行政における関連府県の役割を理解すること(3)福祉行政における市町村の役割を理解すること(4)福祉行政における組織及び団体の役割を理解すること(5)福祉行政における専門職の役割を理解すること(6)福祉行政における国と地方の関係を理解すること(7)福祉の財源と関連した計算問題の理解(8)福祉行政の内部の目的と理念(9)福祉行政における自治体間の連携(10)福祉行政の今後の展望について考えること	2	2	◎○○○○△△○○◎◎
45137	環境社会学	現代社会が抱える重要な問題の一つに環境問題がある。環境問題は、近代以来の人類の活動と自然環境との関係から生じている。自然環境と人間活動との関係は、社会科学や人文科学が取り組むべき重要な課題である。本講義では、人間社会の理論から環境問題の構造の解明と政策立案を目指す環境社会学の基礎理論を学ぶこと、環境問題の多面的な理解し、自らの問題としてとらえていく。	様々な環境問題について、その現状を理解することができる。 環境社会学および隣接領域の理論を理解することができる。 それらを用いて事例を分析することができる。 具体的な事例の解決策を考案することができる。	2	2	◎○○○○△△○○◎◎
45138	地域経済学1	地域経済学の理論、分析方法、地域政策の歴史	1. 現代経済に関する地域の視点および地域経済分析の概念と方法を学ぶ。 2. 地域経済学と地域政策の歴史的な展開を理解する。	2	1	○○○○○○◎○○
45139	地域経済学2	地域経済学の理論、分析方法、地域政策の歴史	1. 現代経済に関する地域の視点および地域経済分析の概念と方法を学ぶ。 2. 地域経済学と地域政策の歴史的な展開を理解する。	2	1	○○○○○○◎○○
45200	世界経済論	The formation of the world economy: Past and Present	Students will understand the development and overview of the world economy since the beginning of the 20th century through studying the relationship between developed and developing countries, economic theory, and political economy thoughts.	2	2	◎△△△◎◎△◎
45201	グローバル・エコノミー	Global Economy in the 21st Century: Focusing on changes in the relationship between developed and developing countries	1. Students will learn how to measure the economic growth and economic development. 2. Students will learn the transitions of international cooperation. 3. Students will have a good understanding on a relationship between an economic stagnation of developed countries and economic growth of developing countries since the beginning of the 21th century	2	2	◎△△△◎◎△◎
45202	アジア経済論	アジアの経済発展のダイナミクス、金融経済、国際経済、開発経済の視点から議論する。	1.アジア地域の経済発展について、貿易・金融・政府の役割を理解することができる。 2.アジア地域における経済統合について、その特徴や地域内各国経済への影響を理解することができる。	3	2	○○◎◎◎○○△△
45203	国際金融論	国際金融の基礎構造	国際金融の基本的概念を整理し理解する。	2	2	◎○○○○
45204	国際金融史	History and Current Status of International Finance	1. Students need to understand the historical process of the international financial system under which the modern financial institutions have been working. Having a grasp on the historical approach will help you understand the current situation in our world. 2. Students also will be able to consider the global issues which continue to occur in current financial world. We will address to discuss the issues such as financial markets, international aspects on markets' trend in recent periods, including aftermath of the Brexit, the monetary policy of the US Federal Reserve and the political economy in the EU.	2	2	○○◎
45205	国際経済学1E	The basic theory of International Economics	This class is designed for students to understand the basic theories in international economics.	2	1	○○○○◎△○○◎
45206	国際経済学2E	Policy Analysis in International Economics	This class is designed for students to apply the basic theories in international economics to policy analysis.	2	1	○○○○◎△○○◎
45207	国際政治経済論	ヘゲモニー国家を中心に見る近代国際政治経済の歴史と国際関係理論	1. 国際政治経済秩序の根幹を成す「国際公共財」につき、①「国際公共財」とは何か、②「国際公共財」の形成・発展過程について理解することができる。 2. 国際政治経済学の代表的理論について理解することができる。	2	2	◎○○○○◎◎○○
45208	国際公共政策論	代表的な国際公共財としての国際法と国際機関	国際経済学を中心とした国際法、および関連をめぐりする国際機関、についてそれぞれその機能や効用、問題点を理解することができる。	2	2	◎○○○○◎◎○○
45210	国際貿易論1E	The basic theory of International Trade	This class is designed for students to understand the basic theories in international trade.	2	1	○○○○◎△○○◎
45211	国際貿易論2E	Analysis of Trade Policy	This class is designed for students to obtain the skills to discuss trade policies based on the standard economic theories.	2	1	○○○○◎△○○◎
45212	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎○○○○◎△○○◎
45213	国際開発論2E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎○○○○◎△○○◎
45214	アジア経済史AI	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○○○○◎◎△

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマポリシー(学位授与方針)

以下のつの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する深い問題意識をもち、自分自身で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に関心を持ち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のOP/カリキュラム編成方針

【2023年度の入学者】1年次には、国際基幹教育院での船学および語学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択(強い希望科目選択)が行われるよう、年2回(1回)アルバイタ教員と連携する機会が確保されている。2年次の01から02にかけては専門基礎科目群を体系的に履修し、3年次04からの両学期に専門科目群の履修を開始する。3年次04月、専門知識をより深く身につけるべく、エコミクスコースもしくはグローバル・マネージメントコースに配属される。エコミクスコースでは理論・政策系科目群およびグローバル系科目群の、グローバル・マネージメントコースではマネージメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探求し、調査研究論文や論文発表等に結び付け、演習での探究活動を通じて、人材養成目標4、5の實現の期待される。なお、人材養成目標3および4の實現を促進して、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学修目標(①学修成果を上げるために履修することが多くに強く求められる科目、②学修成果を上げるために履修することが多くに強く求められる科目、③学修成果を上げるために履修することが多くに強く求められる科目)

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学年	単位	1. 幅広い教養を身につける	2. 経済学・経営学を学ぶための必要知識を修得する。	3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。	4. 企業、組織のしくみと経営の役割を理解する。	5. 国際経済・国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。	6. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。	7. さまざまな経済学説や理論を修得する。	8. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決のための政策立案能力を養	9. 将来、社会の自国として働くことの意義を高めるとともに、キャリア形成のための	10. 課題を発見し、自ら調べ、解決することの過程を振り返り、課題を導き出す能力を培う。	11. さまざまな情報源(日本語以外で発行されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益	12. 社会人に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディベート能力を身につける。
45316	パーソナルファイナンス	パーソナル・ファイナンス及びポートフォリオ理論	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を体理解できるようにする。	2	2				○	○				○			
45317	国際会計論	The basic theory of Accounting	This course is designed for students to understand basic principles of accounting for practical use.	2	2		◎			◎							○
45318	国際経営論	Outline of International Management	Students can learn management systems of multinational corporations (MNCs) holistically.	2	2		◎			◎				○			○
45319	国際マーケティング論	Learn about the practical theoretical system of international marketing	Consumer behavior and corporate marketing practices are diverse internationally. For example, the meaning of "tasting at McDonald's" differs from country to country. Therefore, it is essential for companies to understand the culture of the country they intend to enter. Therefore, the purpose of this lecture is to clarify how marketing management, such as product development, sales behavior and response to customer	2	2		◎		△	◎			○	○	◎		○
45320	地域マネジメント論	地域マネジメントの事例と手法、理論を学ぶ	地域資源の発見、活用、評価という一連のプロセスを理解し分析できるようにする。	2	2		○						◎	○	◎		○